

「スマートライフ推進協創プロジェクト」 第3回推進会議の概要について

「スマートライフ推進協創プロジェクト」の平成 25 年度第3回推進会議（みえスマートライフ推進協議会 第6回企画・運営委員会）を平成 26 年 3 月 11 日（火）に開催しました。

会議に先立って、（株）東芝のスマートコミュニティセンターを視察しました。

会議の概要は、以下のとおりです。

「スマートライフ推進協創プロジェクト」委員

※敬称略、カッコ書は役職

＜委員長＞

並河 良（中京大学総合政策学部教授（兼）
大学院経済学研究科教授）

＜副委員長＞

坂内 正明（三重大学教授 スマートキャンパス部門長）

＜委員＞

生駒 芳子（ファッション・ジャーナリスト）

小西 千晶（株式会社東芝 コミュニティ・ソリューション事業部参事）

坂井 稔（富士通株式会社 三重支店長）

※坂井委員はご欠席（代理：東海支社 多田様）

設楽 哲（一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）理事）

※設楽委員はご欠席（代理：鈴木部長）

樋田 直也（本田技研工業株式会社 事業企画統括部 スマートコミュニティ企画室長 主任技師）

林 宏行（大和ハウス工業株式会社 本社環境エネルギー事業部 副事業部長 本店環境エネルギー事業部 事業部長）

半田 敬信（三菱化学株式会社 情報電子OPV 事業推進室建築デバイス部長）

森島 正幸（百五銀行 営業渉外部長）

※森島委員はご欠席

＜推進会議の進行概要＞

会議の進行概要は以下のとおり

開会 13:00

議題

- (1) スマートコミュニティの事例研究
- (2) スマートライフ推進協創プロジェクトにおける委員からの意見及び対応状況
- (3) スマートライフ推進協創プロジェクトにおける平成 26 年度に向けた取組方向
- (4) スマートライフ推進協創プロジェクトにおける平成 26 年度当初予算概要

閉会 16:30

（事務局からの説明）

事務局より、スマートライフ推進協創プロジェクトにおける委員意見の対応状況や平成 26 年度に向けた取組方向等を説明しました。

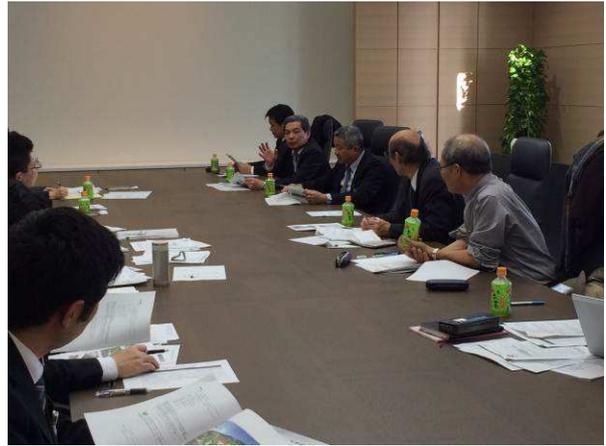


（プロジェクト推進についての意見交換）

続いて、並河委員長の進行によりプロジェクトの推進に関する意見交換を行いました。

※委員からの主な意見

- 桑名市のスマートタウンの整備や熊野市のマイクロ水力発電の実証などいくつかプロジェクト化されてきている。平成26年度に向けてさらに取り組みを推進してほしい。
- サイエンスやテクノロジーの力を借りながら、心のエコロジーと呼ばれる時代に向けて、日本人の心のよりどころとなる伊勢神宮を有する三重県ならではの、ハードが中心ではなく、人の創造力や五感を大事にした人が中心となるスマートライフの構想をすすめてほしい。
- 防災施設・避難施設における再エネ・蓄エネの整備を契機として産業振興につなげていくといいのではないか。
- （桑名プロジェクト検討会について）電気自動車のカーシェア事業は厳しい市場環境にあり、事業とするならばシミュレーションを行うなど留意が必要である。
- （熊野プロジェクト検討会について）電気自動車の充電インフラについては、来年度も経済産業省は力を入れており、普通充電器も含めて検討するといいのではないか。
- （スマートアイランドプロジェクト検討会について）離島モデルでの成功事例は宮古島である。その特徴は小学生を参加させるなど地域住民を巻き込んだ取り組みであり、マスメディアでも取り上げられている。
- （スマートアイランドプロジェクト検討会について）観光シーズンは地域ごとに異なるため、電動モビリティを地域でシェアして回すことを検討してもいいのではないか。
- ICTを活用した取組では、非ネットユーザーが多い高齢者のニーズをうまく把握することが重要である。



次回の開催予定

次回の推進会議については、平成26年度上半期に行う予定です。